

【プレスリリース】

2026 年 10 月吉日

FIDO アライアンス セミナー事務局

第 13 回 FIDO 東京セミナー プログラム発表

12 月 4 日（金）12:00 開場 東京ポートシティ竹芝 ポートホール

パスワードのいない世界へ

～ Passkeys Today and Beyond ～ パスキーのいま、そしてパスキーを超えた未来 ～

FIDO アライアンスは、2026 年 12 月 4 日（金）に東京ポートシティ竹芝 ポートホールで開催する「第 13 回 FIDO 東京セミナー」のプログラムを発表します。今年のテーマは「Passkeys Today and Beyond ～ パスキーのいま、そしてパスキーを超えた未来」です。

第 1 部では、日本におけるパスキー普及の現在地を振り返り、この 1 年で得られた知見と課題を共有します。第 2 部では、パスキーを出発点に、デジタルアイデンティティ、デジタルクレデンシャル、AI 時代の認証と Trust（信頼）へと視点を広げ、これからのデジタル社会を展望します。

第 1 部「Passkeys Today」

パスキーの普及が進んだ日本。その現在地と、次の一歩

2025 年、証券口座への不正アクセス事案を受け、金融庁は監督指針を改正し、フィッシングに耐性のある多要素認証の実装・必須化を明記しました。日本証券業協会もガイドラインを改正し、ログイン、出金、口座変更などの重要な操作において、パスキーを含むフィッシングに耐性のある多要素認証の実装・必須化を打ち出しました。こうした動きを背景に、国内の証券会社を中心にパスキー導入が進みました。

第 1 部では、デジタル庁、金融庁による基調講演・ゲスト講演をはじめ、FIDO アライアンスと国内企業・団体、技術者などさまざまな立場から、日本のパスキーを取り巻く最新動向を紹介します。パスキーを導入した証券会社によるパネルディスカッションでは、導入検討から実装・展開までを振り返り、各社が得た経験や課題を共有します。証券業界で得られた知見を他の業界にも広げながら、これからのパスキー普及に必要なこと、そして FIDO への今後の期待について議論します。

第 2 部「Beyond Passkeys」

パスキーのその先へ。これからのデジタルアイデンティティと Trust（信頼）を考える

パスキーによる認証を出発点として、その先に広がるデジタルアイデンティティとトラストを取り上げます。デジタルクレデンシャルの利用が広がり、AI エージェントが人に代わってさまざまな操作を行うことが想定される中、「誰を認証するか」だけでなく、人、組織、サービス、そして AI をどのように信頼し、その信頼をどのようにつないでいくかが重要なテーマとなっています。

第 2 部では、Microsoft、Linux Foundation をはじめとする国内外のゲスト、有識者・専門家による講演を通じて、AI 時代のデジタルアイデンティティ、そして「パスキーのその先」にある新たな世界を展望します。

最後のパネルディスカッションでは、第 2 部の議論を踏まえ、デジタルアイデンティティとトラストの次なるフロンティアについて考えます。

「Passkeys Today」から「Beyond Passkeys」へ。パスキーが社会へ広がり始めたいまだからこそ、これまでの経験を共有し、その先にある未来を考える内容となっています。

【開催概要】

日 時：2026 年 12 月 4 日（金）12:00 開場／13:00 開演／18:00～ 懇親会

会 場：東京ポートシティ竹芝 ポートホール（東京都港区）

定 員：300 名（懇親会 100 名、定員に達し次第締切）

参加費：無料（事前登録制）

懇親会：2,000 円（税込）

学 割：1,000 円（税込）※受付時に学生証をご提示ください。

主 催：FIDO アライアンス

後 援：フィッシング対策協議会

協 賛：

- Signature スポンサー：Daon, Inc.
- Platinum スポンサー：OneSpan Japan 株式会社
- Gold スポンサー：フェリカネットワークス株式会社
- Silver スポンサー：株式会社アクル、オーセントレンドテクノロジー株式会社、Keeper Security APAC 株式会社、Keypasco Japan 株式会社、株式会社野村総合研究所（NRI）、NTT テクノクロス株式会社、RaonSecure Co.,Ltd.、RSA Security Japan G.K.、株式会社スタジオメッシュ、株式会社ソフト技研、Yubico

懇親会のご案内

セミナー終了後には、会場にて懇親会を開催します。国内外の登壇者や FIDO アライアンスメンバー、協賛各社と直接交流いただける貴重な機会です。当日の講演テーマについての意見交換や、パスキー、デジタルアイデンティティに関わる皆様とのネットワーキングの場として、ぜひ積極的にご参加ください。

懇親会は 100 名限定です。席に限りがありますので、参加をご希望の方はお早めにお申し込みください。

イベント詳細・参加登録：<https://fidoalliance.org/event/fido-tokyo-seminar-passkeys-today-and-beyond/?lang=ja>

【プログラム内容およびスケジュール】

※同時通訳をご用意する予定です。

※プログラム、講演タイトル、登壇者は予告なく変更になる場合があります。

第 1 部「Passkeys Today」13:00～

ウェルカム・アドレス

FIDO アライアンス 執行評議会・ボードメンバー・FIDO Japan WG 座長/株式会社 NTT ドコモ チーフセキュリティアーキテクト 森山 光一

ゲスト・キーノート

セッションタイトル：調整中

デジタル庁 デジタル社会共通機能グループ・国民向けサービスグループ 審議官 上俣屋 尚 氏

FIDO アライアンス・キーノート

「パスキーから Digital Trust へ：FIDO が描く Identity の未来」

FIDO アライアンス CEO 兼エグゼクティブディレクター アンドリュー・シキア

ゲスト講演

セッションタイトル：顧客口座・アカウントへの不正アクセスおよび不正取引に対する対策強化

金融庁 銀行・証券監督局総務課 IT サイバー・経済安全保障監理官室

課長補佐 香村 光彦 氏

パネルディスカッション

「証券業界が切り拓いたパスキー導入への道：導入のリアルと次なる課題」

モデレーター：

FIDO アライアンスボードメンバー・FIDO Japan WG 共同副座長/株式会社メルカリ CISO 市原 尚久

パネリスト：

野村證券株式会社／マネックス証券株式会社／ほか

『パスキーのすべて』2026～パスキーを「導入する」から「使いこなす」へ～

えーじ

KDDI 株式会社 アプリケーション開発部 エキスパート ID 認証開発担当 小岩井 航介

OpenID ファウンデーション・ジャパン 理事・エバンジェリスト 倉林 雅

Google プラットフォームのパスキー最新情報

グーグル合同会社 デベロッパーアドボケイト えーじ

スポンサーセッション

パスキーの次に来るもの — AI 時代の Identity & Trust とは（仮）

Daon, Inc. Sales Director of Japan 吉井 孝

休憩・デモ展示

第 2 部「Beyond Passkeys」15 : 30～

Featured Keynote

Building Trust in the Age of AI: Open Standards, Identity and the Future of the Internet

Linux Foundation CEO ジム・ゼムリン 氏

「デジタルクレデンシャルが拓く新たなユーザー体験：DC API とメルカリでの挑戦」

FIDO アライアンス Consumer Deployment Working Group 共同座長／

株式会社メルカリ Foundation and Identity Principal Engineer 狩野 達也

セッションタイトル：調整中

FIDO アライアンス Agentic Authentication Technical Working Group 共同座長／

OpenAI Member of Technical Staff ニック・スティール

スポンサーセッション

パネルディスカッション

「Beyond Passkeys ～デジタル Identity と Trust の次なるフロンティア～」

モデレーター：森山 光一

パネリスト：

OpenID Foundation 理事長 崎村 夏彦 氏

OpenID ファウンデーション・ジャパン 理事長 富士榮 尚寛 氏

デジタル庁 アイデンティティユニット長 勝原達也 氏

FIDO アライアンス CEO 兼エグゼクティブディレクター アンドリュー・シキア

クロージング・リマーク

デモ展示・懇親会 18:00～

■ FIDO アライアンスについて

「高速なオンライン ID 認証」を意味する FIDO（Fast Identity Online）アライアンス（www.fidoalliance.org）は、セキュリティと利便性の両立をめざすため、2012 年に設立したグローバルな非営利団体です。堅牢な認証技術に相互運用性が確保されていない状況を改善し、ユーザーが多くの ID とパスワードを覚えなければならないという煩わしさを解消することを目的としています。FIDO アライアンスは、認証におけるパスワード依存を軽減するために、オープンで拡張性と相互運用性のあるシンプルで堅牢な「FIDO 認証」を標準化することで、オンラインサービスの本質に変革をもたらします。

【本件に関するお問い合わせ先】

FIDO アライアンス セミナー事務局 fido_seminar2026@fieldmktg.jp

以上